

今は昔。若者が大島龍舞崎の沖で出漁していた所、その日は海の様子や天候がおかしく雷鳴が鳴り響いていました。若者が漁を諦め引き返そうとしたとき、稲光がきらめいて波間が一瞬明るくなった中に、波にもまれている小舟とそこに倒れている女の人が見えました。若者が高波の中、彼女をただひたすらになって助け出し、近くの洞窟に逃げ込み、難を運れました。それから乙姫は優しい若者を頼りにし、若者も乙姫を慈しみ愛してこの洞窟で末長く暮らしたと言われていました。この伝説が乙姫窟と呼ばれるようになった所以です。また、窟のことを「岩屋」と書くこともあります。 ※ 崩落の危険があり現在修理中です。



vol.3の
続きだよ!

vol.4 澄みわたる幸せ 乙姫窟の旅

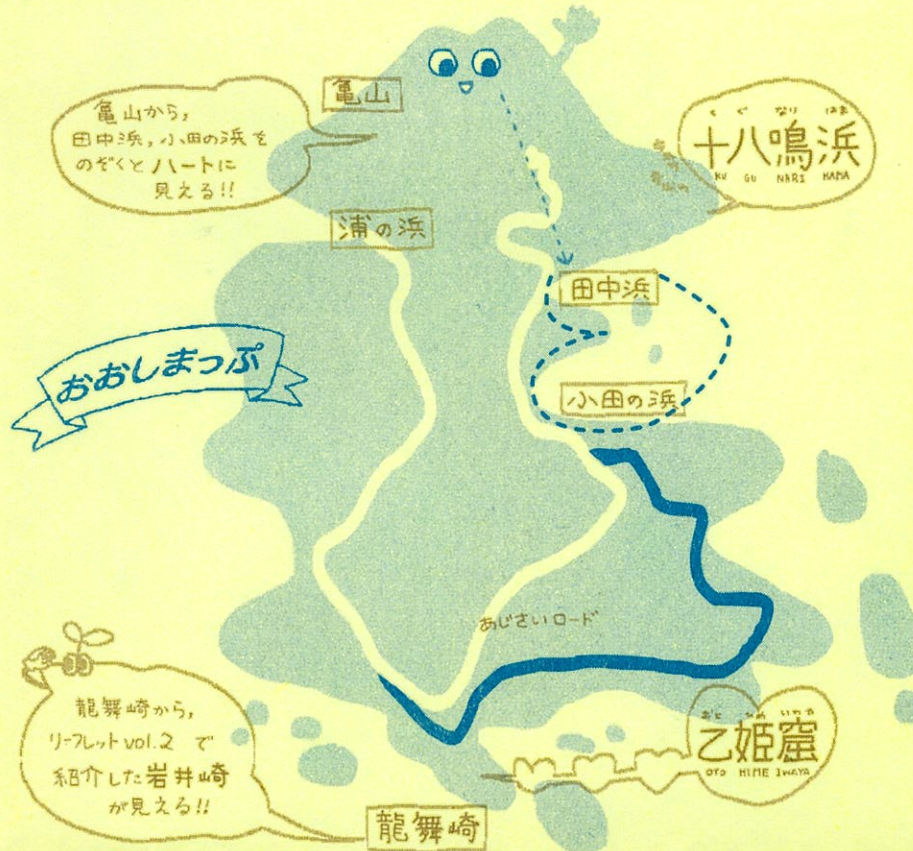
「恋人」は気仙沼発祥?!

「砂の上に わが恋人の 名をかけば 波のよせきて かげもとどめず」
「恋人」という言葉を近代短歌史上最初に使ったとされているのがなんと気仙沼出身の国文学者、落合直文なのです!
今回は乙姫窟をご紹介します。

底上げYouth

宮城県気仙沼市で2012年9月に結成した、地元の高校生による有志団体。
現在は24人で活動しています。気仙沼のまちづくりを観光という切り口で考え、まちを盛り上げると同時に、参加した高校生自身が気仙沼の良さに気付き、地元をもっと好きになるような、楽しい話し合いの場を作る活動を行っています。

〈協力〉気仙沼観光コンベンション協会 気仙沼市階上観光協会 煙雲館 松岩寺 NPO法人底上げ
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン x さなぶりファンド こども☆はぐみファンド 支援事業
〈執筆・編集〉底上げYouth 〈挿絵〉小野寺 彬 〈デザイン〉海岸 真紀子



スミコイ
澄♡恋〜素直な気持ち
を恋石にこめて〜
コイシ

〜前回までのあらすじ〜
十八鳴浜にて二人で手を繋いで九歩一緒に歩くとお互い素直になれるというジンクスを試していた煙男くんとうんちゃん。
しかし砂浜に倒れている人を見つけ煙男くんが手を離してしまっただけで、
「大丈夫ですか?」
「はっ! あらやだ、乙姫窟に行くまでに疲れて倒れてしまいましたわ☆」
「よかったー意識がある!」
「わたしは乙姫。よろしければ、あなた方も一緒にいかが?」
「え、煙男くん? その人は?」
「雲ちゃん、この人は乙姫さん! 乙姫窟まで行きたいらしいんだけど一緒にいっていいかな?」
そんなこと言われたら、言う通りにするしかないじゃない...
そうして私たちは乙姫窟を目指し歩き始めた。
その途中には大島の観光名所の一つあじさいロードがあり、そこを通過していくことになった。
「もー煙男くんだったらー!」
「いやーあはは!」
煙男くんとうんちゃんが楽しそうに話している。
煙男くんの隣は私のものなのに...
ぽつぽつ、ぽつぽつ、ザーザー...
「わっ! 雨! 煙男くん一緒に傘!」
「乙姫さん、傘持ってます? 僕の傘の中に一緒に入りましょう!」
「ありがと! 煙男くんって優しいのね♡」
「雲ちゃんは傘あるもんね!」
「え...そんな...」
思い出した。
あじさいの花言葉は移り気や浮気。
煙男くん、乙姫さんのことを...
どうしよう...このままだと煙男くんを乙姫さんに取られちゃう...
煙男くんって私のこと本当に好きなのかな...あ、私って煙男くんがどう思っ

ているかばかり気にしている。
私、本当は煙男くんのことどう思っているんだろう?」
「ここが乙姫窟! そしてこの洞窟の先まで石を投げると、素直になれるジンクスがあるんだけど雲ちゃんやってみない?」
「え、煙男くんがどう思ってるかを考えるより、私の気持ちを素直に煙男くんに伝えなきゃ。」
自分で伝えるんだ!
「私の方が...私の方が煙男くんのこと好きなんだから!」(ぶん!)
「えっ!」
「あ! 無くしていた指輪!」
「...あ...えっと、今は...でも本当のこと!」
「と、とりあえずもう帰ろうか、フェリーの時間が!」
「う、うん!」
〜帰りのフェリー〜
「雲ちゃん、これプレゼント」
「え...この指輪...私に??」
「誕生日おめでとう! さっきの雲ちゃんの言葉、嬉しかったよ!」
「そっ、そんなこと! あっ、ウミネコ!」
フェリーのデッキからは気仙沼の夕日と家の明かりが見える。
その夕日に照らされた二人の横を、ピンクのウミネコがく〜く〜と鳴きながら飛んでいた。



いいね!してね!

底上げYouthの最新情報はFacebookページから! →
【お問い合わせ】
電話: 0226-25-9670 (NPO法人底上げ)
メール: info@sokoage.org

佐々木 雲
煙男くんが乙姫と仲良くしているのを見て複雑な気持ち。自分の本当の気持ちってなんだろう?

小野寺 煙男
彼の純粋な乙姫への優しさが、雲ちゃんを嫉妬させている。

乙姫
突如現れた謎の美女。理由はわからないが乙姫窟に行こうとしている。

● 煙男
● 雲
● 乙姫